



# がっこう 学校だより

よこはましりついできた  
横浜市立飯田北いちょう小学校  
平成27年 7月号  
6月30日発行

## 夏本番に向かって

梅雨の晴れ間にのぞく太陽は、もう真夏の陽射しです。気温・水温の条件を満たすと水泳学習ができるとあって、子ども達も天候に敏感になっています。ご存じのように、水泳は心肺機能を高めたり、浮力によって脚腰の負担が少なく全身運動ができるなど、子ども達の健康な体を作っていくうえでは、とても良い運動です。学校では、楽しく体力づくりができるよう、教職員が協力して指導にあたっています。



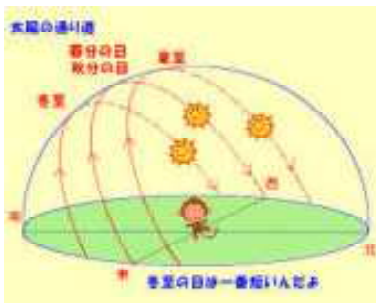
ただ、楽しさのあまり、ふざけたり、約束を守らなかったりすると、危険な側面もあります。体調の良い状態で学習に参加できるように、「早寝・早起き・朝ごはん」や検温、排便の確認など、ご家庭での協力もお願いいたします。

## 夏至(6月22日)

夏至は、ニュースにも取り上げられましたので、知っているという人も多いと思います。一般的には「一年中で昼の長さが最も長い日」と言われていて、今年も6月22日(月)でしたが、毎年同じ日ではなく、来年は6月21日になるそうです。

昼が長いということは、それだけ太陽が長い時間出ているということになり、当然気温が高くなる気がしますが、日本の場合、夏至が梅雨の時期と重なっているケースが多く、実はそれほど暑さを意識することはなく、梅雨が明けた1ヶ月後あたりが最も気温が高くなるようです。

日照時間の短い北欧では、昼間の最も長い夏至は、とても大切な日としています。フィンランドをはじめ、さまざまな国で夏至祭が催され、スウェーデンでは、国中が週末お休みになるそうです。



## よこはま こども国際平和スピーチコンテスト

6月24日(水)、「よこはま こども国際平和スピーチコンテスト」泉区大会がありました。泉区内の小中学校の代表が集まり、堂々と自分の考えを発表しました。本校からは、6年の富永麗香さんが代表に選ばれ、「平和への近道」という題でスピーチしましたので、ご紹介します。

# 平和への近道

ねん とみながれいか  
6年 富永麗香

自由、幸せ、毎日が満たされた生活を送っている私達。私の周り  
にいるみんなは本当に幸せなのか。世の中は本当に平和なのか。私はあ  
る方の話がきっかけとなり、平和のための近道はないか、真剣に考え  
てみました。



先日、福山さんという方からお話を伺いました。福山さんのお母さん  
は日本人。日中戦争の関係で中国に渡り、敗戦後に中国に取り残され  
ました。福山さんが14歳で来日した当時は、日本語を教えてくれる先生もおらず、福山  
さんは日本語が分からなくて毎日を泣いて暮らしていたそうです。

実は、私の母も福山さんと同じ様に、4歳までカンボジアで暮らしていました。当時のカン  
ボジアでは内戦があり、食べるどころか生きていくことが大変だったそうです。幼い母を含  
め、多くのカンボジアの方が、難民となって自分の国を離れたそうです。私が、今、こうし  
て毎日を幸せに過ごせるのは、母のおかげです。そんな母に、感謝の気持ちでいっぱいにな  
りました。



今でも、戦争の影響で苦しめられている人がたくさん  
います。戦争がきっかけで、自分が生まれた国に住むこ  
とができなくなることがあって、よいのでしょうか。たと  
え、福山さんや私の母が、現在は幸せに暮らしていた  
としても、これは本当の平和といえるのでしょうか。

そこで、私は平和に過ごすためには何が必要なのか、  
考えてみました。私の学校では、あいさつを誇れる学校  
にするために、毎朝あいさつ運動に取り組んでいます。

すると、カンボジアから来たばかりの1年生が、あいさつをしていないことに気がつきました。  
その子は、教室でも1人でいることが多く、いつも不安そうな顔をしていました。次の日、私  
は思いきって話しかけてみると、すてきな笑顔を見せられました。その笑顔を見たときはと  
てもうれしかったけれど、自分もカンボジアにつながる児童として、カンボジアのことばであ  
いさつをしてあげればよかったと後悔しました。今、私にできることは、その1年生にカン  
ボジアのことばで話しかけ、その子の不安を安心にかえてあげることだと思っています。あい  
さつは、ことばにするだけで仲良くなれる「魔法のことば」なのです。あいさつを通して、全  
ての子が毎日を安心して過ごすことができるようになることが、平和への近道になると、私  
は信じています。

とみなが いずみく ゆうしゅうしょう ちょうかい こ たち しょうかい ひょうしょうじょう  
富永さんのスピーチは泉区で「優秀賞」をいただきました。朝会で子ども達に紹介し、表彰状  
をお渡ししたいと思います。